



○「感動ある体験」と「コミュニケーション」を大切にして、「楽しい学校」を創り、子どものやる気（挑戦意欲）を育てます。
 ○コミュニティ・スクールとして、「信頼される学校」「地域とともにある学校」を目指し、これまでの学校の特色や地域資源を生かしながら、「学力の向上」「豊かな心の育成」「健康・体力の向上」に取り組み、問題解決力の基礎を養います。

学校経営の中期的な目標と方策

☆学力の向上
 ○学力をはじめとする各種調査の結果等を踏まえたうえで、校内研究を中心に児童に確かな学力が身に付くよう授業改善を図る。
 ○授業規律を確立し、学習の構えをもたせる。
 ○児童の興味・関心を高める教材や展開を工夫する。また、ICTを活用し児童が自ら主体的に考え、協働し表現する場面を大切にす。
 ○読書や話し合い活動をはじめ、全教科で、言語活動の充実を図る。
 ○ユネスコスクールとして、国際的で持続可能な視点をもってESD教育を推進する。

☆豊かな心の育成
 ○道徳の授業を要とし、学校教育全体を通してあいさつ、言葉遣いの指導を中心に人権教育を進める。
 ○生活指導部を中心に、全教職員で指導する体制をつくり、相手の人権を傷付ける行為（いじめ・暴力）は、絶対に許さない温かい学校風土を確立する。
 ○いじめが疑われるときは、「校内いじめ対策委員会」を開催し、学校組織として対応する。
 ○不登校は、別室使用やSC、支援員等と連携していねいに対応する。
 ○保護者や地域、関係機関と連携し、児童の健全育成を図る。
 ○読書や道徳で学んだことを日々の活動や行事などの出来事や心情と結び付けて指導する。

☆健康・体力の向上
 ○体力テストの結果を分析し、体育の授業を工夫し、体力向上を図る。
 ○校庭改修期間は、洗足池グラウンドを借りて体育を指導し、全学年で遠足を実施して、運動の機会を増やす。
 ○学校保健委員会や保健の授業の工夫によって健康教育を推進する。

☆教職員の研修体制
 ○経営会議、主任連絡会等で、職層に合わせたOJTを進める。
 ○互いに授業を見合い、学び合うことができる体制を作る。
 ○児童の「ウェルビーイングの向上」を目的とした研究授業を行い、教師の授業力とともに児童の幸福感を高める。
 ○校外の研究・研修会に積極的に参加する。ICTを活用し、「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る。研修後は、校内に報告し還元する。
 ○管理職が主催する服務研修を定期的実施し、児童はもとより、教職員の安全・安心を守る。

☆コミュニティ・スクールとしての地域連携
 ○学校運営協議会委員より、積極的に意見を聴取し、速やかに改善する。
 ○地域学校協働本部「スクールサポートあかまつ」と連携を強化し、「おおたの未来づくり」の授業をはじめ、児童や教職員の地域理解を促進する。
 ○PTA行事、地域行事への参画を児童に促すとともに、教職員も積極的に参加する。
 ○保護者からの評価結果を全教職員に示し、課題点について共有する。
 ○開校150周年に向けて、積極的に地域との意見交換を行い、計画的に準備を進める。

☆安心できる学校…①人的・物的に清潔で明るい施設環境を整備する。②火災や地震、不審者の侵入、救急対応（アレルギー含む）など、緊急時等にすばやく組織で動く訓練を行い、日常から危機管理意識をもつ。③校内の危険物（毒物劇物・刃物類等）の管理を適正に行う。④校舍改築期間は、工事業者と綿密に連絡を取り合い、最大限の安全配慮に努める。⑤情報管理を確実にし、個人情報の保護を徹底する。⑥予算の執行状況を常に確認する。